

電力スマートメーターを活用したフレイル予防事業をはじめます

■ 目的

65歳以上のひとり暮らし高齢者のハイリスクアプローチ（疾病の発症リスクが高い人を特定し、働きかけを行うこと）を効率的に実施し、フレイル状態にあるひとり暮らし高齢者に生活習慣の改善を促すことで、フレイル予防を推進することを目的としています。

※同居者がいる高齢者と比較して、ひとり暮らし高齢者は身体活動量と運動機能が低い傾向にあり、フレイルになるリスクが高いことが分かっています。

■ 概要

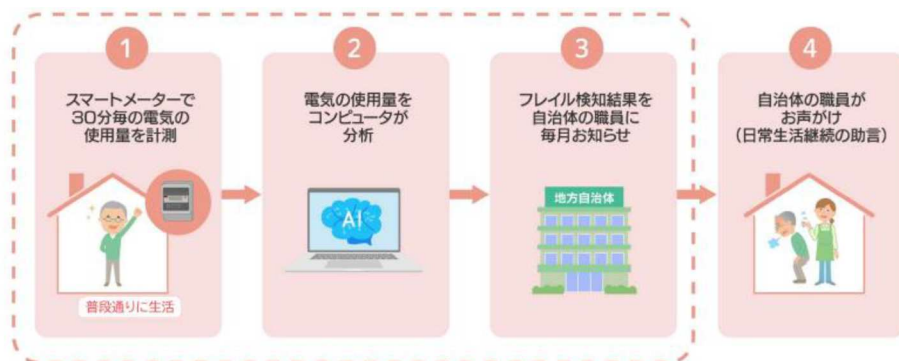
各家庭に設置されている電力スマートメーターからの情報をAIが判断し、毎月1回、市へ情報が提供され、フレイル予防が必要と検知された場合、市の保健師が電話や訪問により対象者の生活状況を把握し、フレイル予防対策のための助言や取り組みを促し、いつまでも住み慣れたご自宅でいきいきと健康に過ごすためにご利用いただくものです。

対象者は、市内に住民登録のある、65歳以上のひとり暮らし高齢者。（ただし、介護保険の要支援・要介護認定者及び事業対象者、太陽光発電設置者を除く。）

本事業の利用にあたっては、事前に登録申請が必要になります。

利用登録の受付は、6月から健康生きがい推進課窓口で随時行い、令和7年5月15日時点で事業の対象になる方には、6月にご案内を送付します。

※登録の定員は500人。利用料は無料です。



【事業のイメージ】

中部電力(株)HPより

■ その他

この事業は、中部電力（株）が開発した e フレイルナビを活用します。

■ 問合せ先

健康生きがい推進課 0568-39-6568（直通）

